

中田かわら版 8月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所
横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい<14>

「将棋を世界に広める会」

理事 松岡信行さん（66）

今年5月、松岡さんが『**解明：将棋伝来の「謎」**』を出版した。将棋は日本伝統文化と言われて久しい。しかし、現在の形のものが、いつどこで創られたかは多くの人が研究してきたが分からなかった。松岡さんは日本で初めて、いや世界で最初に将棋の発祥は日本と証明。それは1000年ほど前、一条天皇の宮廷サロンで創られた、と本の中で発表したのだ。



自著の前で松岡さん（山神前在住）

『知的遊戯の歴史』の著者・大阪商業大学の谷岡一郎学長も、

この説を認めているのをはじめ、日経、産経新聞が取材に訪れるなど、反響の大きさが分かる。

将棋の発祥については二つの説が有力だった。中国伝來說と東南アジア説である。世界にはおよそ1

20種類ある将棋の仲間の中で、一番広がりのあるのがチェスで西洋で発達し、その優秀性と共にヨーロッパでは最高の頭脳ゲームとして地位を確立していった。やがて東に伝わった将棋の仲間は日本にも伝播し「将棋」になっていく。そこに浮上したのが日本発祥説の松岡さんなのだ。唐の宰相・牛僧孺が書いた「言怪録」という本に、中国象棋に言及する逸話が残されている。この本が日本に伝わり、これを元に日本の将棋が創られたという説である。松岡さんの結論をまとめると

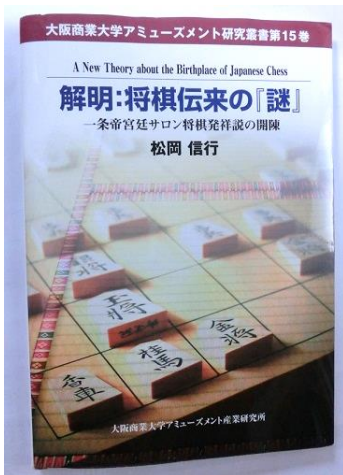
- ①創作された場所は、一条天皇の宮廷で完成され、年代は1015年ごろ。
- ②創作には藤原行成や大江匡衡らが関与したと思われる。
- ③一条天皇も関わった可能性が高い。「将棋」という表記も宮廷サロン発祥説から解明できる。

④発祥当時から、持ち駒を使用していた、など。これを裏付けるかのように1992年、奈良・興福寺の井戸状遺構から今まで発見された中でも最も古い駒16点が掘り出された。同時に出土した木簡に天喜6年7月26日と記されていた（1058年）。現在の名称とほとんど同じ文字が書かれている。

小学3年の時、将棋を覚えたという松岡さん。以後55年間、自分でも呆れるほど将棋の世界にどっぷりと漬かる。大学を出て中学校教諭に。理科（生物）を担当する傍ら、南方熊楠の研究や中国の文学・歴史にも造詣が深く古代中国を題材とした短編小説も書く。中島敦を彷彿させる文体はかなりの筆力がある証拠。松岡さんが将棋の日本発祥説にいたるまでに読んだ文献、資料は250点を超える。中国の古典はじめ「紫式部日記」「枕草子」から古文書まで研究したという。大事業の陰には中国文化に精通していたことも幸いしたと思う。将棋は今、世界44か国で行われており中国のように学校の教科に取り入れているところもある。将棋の世界への普及、講師の派遣、イベントの開催、将棋の寄贈、会報の発行など活動は広範囲にわたる。会報「かけはし」の編集長も務める松岡さんは「将棋ペン倶楽部」賛助会員、日本将棋連盟「神奈川県支部連合会」特別会員として多忙な日々。

このままいけば来年は将棋の日本発祥から1000年の節目にあたる。何か因縁めくが論文自体が生まれるべくして生まれたような気が、と松岡さんは感慨深そうに語っている。（編集委員 宮田貞夫）

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～



9月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【平成26年度敬老会】

日程 9月15日(月) 祝日
式典 12:30~13:00
演芸 13:00~14:30
場所 中田小学校体育館
対象 満75歳以上の方
内容 中田中学校PTAコーラス
舞踊・民謡
中田中学校吹奏楽部の演奏

【中田御霊神社例大祭】

日程 9月21日(日)

本年の神輿渡御は、隔年通り短縮
順路の神輿渡御と、山車曳きが行われる。更に、短縮順路で行われる神輿渡御への子ども達の山車曳きも行われます。

例大祭式後の余興は、中田囃子保存会若手による「中田はやし」の演奏と、二人の演歌歌手による奉納演芸が行われる予定です。尚、鳥居前の参道は10:00~22:00まで歩行者天国となり車両規制され、露天商などでにぎわいます。

11:00 例大祭式執行 17:30~18:10 中田囃子演奏
13:00 御神輿、宮出し 19:00~21:00 奉納演芸
15:00 御神輿、宮入

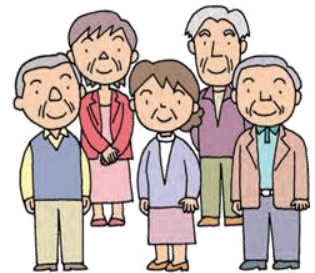


「団塊の世代」と高齢化問題

かつて「2007年問題」というのがあった。最近では「2012年問題」が注目を集めた。2007年は世代が60歳定年を迎えるにあたり年金、介護保険、医療費などどうなるか、話題になった。2012年は65歳定年者を迎え業界や各企業は膨大な退職金の捻出が大問題になった。

一方、未曾有の人口突出世代の団塊の世代が高齢化に突入することでもあった。戦後3年間に生まれた世代は680万人と言われる。先般、神奈川県が「平成27年における県の高齢者像」を発表した。26年度の場合、高齢者人口は200万人を超え、総人口の23%に達した。増加率では今後10年間で1.5倍が見込まれている。特に、後期高齢者(75歳以上)の伸びは今後10年間で1.7倍と推定され総人口の10%を占める。

その結果、①急速な高齢化が進む ②高齢者のいる世帯の増加する反面、一人暮らしの高齢者も増加 ③介護を必要とする者の増加で介護保険の財政負担が懸念される。④高齢者の意識の変化(就業、住環境)が予想されるという。



<「団塊の世代」>について

作家で元経済企画庁長官の堺屋太一氏が、1979年に講談社から出版した同名の小説がもとになっている。この言葉が生まれる前は、単に戦後のベビーブームの世代と呼ばれていた。「団塊の世代」は狭義では1947年(昭和22年)から1949年(昭和24年)までの3年間に生まれた人。広義では1946年(昭和21年)から1950年(昭和25年)の5年間に生まれた人を指す。狭義の場合、その人口は680万人で総人口の5.3%を占め、広義の場合は1000万人を超える。

ところで、ものの本で団塊の世代を个性的で権利意識が旺盛と書いている。ある意味で個人主義で協調性がなく、そのくせ群れたがる。理屈屋が多く、すぐに蘊蓄を垂れたがる。いつも圧倒的多数の中で生きてきたので、埋没を恐れ何よりも個性を発揮する必要があった。理屈屋なのも戦後の新しい文化を多く吸収してきた結果である。さて、この説を皆さんはどう思われますか。

(編集委員 宮田貞夫)

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jp へアクセス！！